

日本経営工学会 Best Presentation Award の要領

1. 対象業績

Best Presentation Award の対象となる業績は、原則として本会が主催する春秋の大会において、学生会員が登壇し、口頭発表を行った研究発表とする。

2. 審査方法

以下の審査員が、下記4項目を評価し、表彰委員会で審議の上、理事会で受賞者を決定する。

・審査員

理事、司会者、論文誌のエリアエディタ、研究部門長、研究部門幹事、表彰委員

・評価項目

- ① 構想力 研究内容のオリジナリティ性・先進性（従来研究との比較などから、研究の特徴を述べているか）
- ② 説明力 発表における口頭説明のわかりやすさ（目的・方法・結論が明確に述べられているか）
- ③ 表現力 発表スライドの体裁やわかりやすさ（スライドが見やすいか、簡潔か、工夫を感じるか）
- ④ 対応力 質疑応答における対応の適切さ（質問に対して、真摯に、丁寧に対応できたか）

3. 受賞者数

各大会で5件程度とする。

4. その他

審査結果はJIMA ホームページおよびメールマガジンに掲載し、受賞者には賞状と賞品を送付する。

参考：Best Presentation Award の受賞者リスト

<http://www.jimnet.jp/information/awards/best-presentation-award>

以上

平成30年度秋季大会より適用